

1.新技術を用いた取組

[＜事例リストに戻る＞](#)

事例番号	⑥-(2)
事例名	法定点検対象施設の点検補修結果データをクラウド上において管理
自治体名	福井県
導入時期	令和元年 6 月
取組の背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋梁台帳と橋梁点検結果を別々のシステムで管理していたが連携しておらず、データの整合性確認に時間を要していた。また、サーバー型のシステムであったため執務室で特定の端末でしか見ることができなかった。</li> <li>・ 橋梁以外の施設へのシステム拡張が困難であった。</li> </ul>
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法定点検対象施設の施設諸元、定期点検結果、補修履歴などのデータを一元化したクラウド型データシステム(社会インフラ管理プラットフォーム「SIMPL」)の導入</li> </ul>
内容	<p>[システム概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の施設諸元、定期点検結果、補修履歴などのデータを一元化したクラウド型データシステム上で管理。</li> <li>・ 施設完成時から現在までの、点検・診断・補修履歴をタイムラインで表示でき、過去に実施した点検記録とリンクしているため、点検時の内容を確認することができる。</li> </ul> <p>[システムの特徴]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当システムは、内閣府が進めてきた戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)において、自治体向けインフラ維持管理データシステムとして構築されたもので、クラウド型でスマホやタブレットで現場でもデータ確認が可能なのが特徴である。</li> </ul> <div data-bbox="464 1126 1466 1823" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>道路インフラ DBシステム (SIMPL)</b></p> <p>The diagram illustrates the SIMPL system architecture. At the center is the 'SIMPL データベース' (SIMPL Database) containing '諸元データ' (Basic Data), '点検データ' (Inspection Data), '診断データ' (Diagnosis Data), and '補修履歴データ' (Repair History Data). A 'DB' icon is shown below the database. The system is accessed through four main functions: ① 施設を探す (Search for facilities), ② 施設情報を見る (View facility information), ③ 施設情報を出力・分析 (Output and analyze facility information), and ④ 施設情報登録 (Register facility information). Arrows indicate the flow of data: '検索' (Search) from ① to the database, 'データ取得' (Data acquisition) from the database to ③, and '登録' (Registration) from ④ to the database. A note for ② states: 'タイムラインで、竣工、点検、設計、補修等の履歴を確認' (Check history of completion, inspection, design, repair, etc. on a timeline). A note for ④ lists: '・台帳 (Ledger), ・点検調書 (Inspection report), ・補修履歴等 (Repair history, etc.)'. Below the diagram, a smartphone icon is shown with the text: 'クラウド型なので現場でスマホ使用が可能。⇒ 過去に確認された損傷個所の進行具合や、新たな損傷発生の確認がすぐにできる。' (Cloud-based, so smartphone use is possible on-site. ⇒ You can immediately check the progress of damage previously confirmed or the occurrence of new damage). To the right, two photos of bridge structures are shown, labeled '前回点検' (Previous inspection) and '今回点検' (This time inspection), with the caption: '同じアングルでの撮影が容易に' (Easy to take photos from the same angle).</p></div> <p style="text-align: center;">図 社会インフラ管理プラットフォーム「SIMPL」 概要図</p> <p>[導入の経緯]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存システムの更新時期に、金沢大学より当システム利用の提案があり既存システムと比較したところ、当システム採用による有効性が高かったため採用した。</li> </ul>

<p><b>取組によって 得られた効果</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートフォンやタブレットを利用して、現場で点検時の写真等が確認できるため定期点検だけでなく日常の道路パトロールでも損傷の進行具合や新たな損傷についていち早く確認、発見できるようになった。</li> <li>・ 橋梁だけでなくトンネル、シェッド、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等の施設にもシステムを拡張できた。</li> </ul>
<p><b>苦労した点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存システムから新システムへ移行による有効性の説明等、システム移行時の庁内調整に時間を要した。</li> </ul>
<p><b>工夫した点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他機関で作成したシステム(東北大学 SIP)を改良して導入することで、システム開発の効率化を図った。</li> </ul>
<p><b>連絡先</b></p>	<p>福井県 土木部道路保全課 [ 電話番号 0776-20-0514 ]</p>